

医療情報システム用サーバ設計・機器調達・構築・運用保守にかかる意見書 対応について

No	書類名	ページ数	意見	対応
1	2_0_次期院内医療情報システム調達にかかる共通仕様書. pdf	3	OSやCALは「最新版」を導入予定とされていますが、ウイルス対策ソフトは「基本システムの動作確認が取れているものから選定」とされており、医療情報システムとの互換性が最優先されるかと思えます。医療情報システムや各サブシステムで必ずしも動作保証されているとは限らないため、「アプリケーションベンダが推奨、動作保証するバージョンのうち最新のもの」といった要件を定義いただく方がシステムの安定稼働の観点からより望ましいと考えます。	本基盤は複数システムが搭載される予定であり、OSの最新版が望ましいシステムもあることから、基本的には最新版と考えています。 CALについては旧バージョンも利用できるため、最新版で問題ないと考えています。  このため、現行の記載から変更しないこととします。
2	2_0_次期院内医療情報システム調達にかかる共通仕様書. pdf	6	「仕様書に明示されていない事項でも、その履行上当然必要な事項については、受託事業者が責任を持って対応すること」また「別途費用を請求することはできない」とされておりますが。「当然必要な事項」の解釈が業者と貴院とで異なる場合、トラブルの原因となる可能性があります。「本仕様書に記載された要件・性能を満たす作業や物品」のように、具体的に定義いただくことで双方にとってのリスクを低減できると考えます。	仕様書を満たすために詳細に記載されていなくとも、必要な事項については対応していただくことを想定して記載しています。明らかな仕様の変更や追加を含んでいるものではありません。  ただし、いただいたご意見をふまえ「仕様書に明示されていない事項でも、その履行上当然必要な事項については、 <u>発注者と十分協議のうえ、受託事業者が責任を持って対応すること</u> 」と反映します。
3	2_1_共通仕様書_別紙1_別紙調達範囲と業務分担. pdf	1	「予防保守」の記載がありますが、予防保守での機器出荷を原則不可とする保守業者が多くなってきております。昨今はコンプライアンスの観点でも柔軟性のある対応が通らないケースが大多数を占めております。 「予防保守」=故障、障害が起こりそう、可能性があるための予防交換、と捉えられますので、貴院としての「予防保守」が何を指すのか、明記頂く形を希望いたします。	「予防保守」についてですが、必ずしも「予防交換」を指しているわけではありません。 障害発生回避策として、ファームウェアのバージョンアップや設定変更等を提案すること、それでも対応できない場合は予防交換をすること、と想定しています。  仕様の明確化のために、「 <u>予防保守（障害発生回避策として、ファームウェアのバージョンアップや設定変更、予防交換等）</u> 」と反映します。

医療情報システム用サーバ設計・機器調達・構築・運用保守にかかる意見書 対応について

No	書類名	ページ数	意見	対応
4	2_1_共通仕様書_別紙1_別紙調達範囲と業務分担. pdf	2, 3	業務分担表について、「△：助言、協議等補助的な業務を行う」の記載があります。こちらについて、△部分の役割が非常にあいまいなため、業者次第となりますが、丸投げなども予想されます。責任の所在を明確にするため、「△：助言、協議、情報提供、支援等補助的な業務を行う」という形へ文言変更を希望いたします。	共通仕様書には、全体的な役割分担を一覧で示しています。詳細には各詳細仕様書で記載しています。  このため、現行の記載から変更しないこととします。
5	2_2_共通仕様書_別紙2_主な院内医療情報システムの調達スケジュール. pdf	1	現在世界的に、半導体メモリの需要が増えており、その影響で各メーカーにてメモリ入手が困難となっております。そのため、サーバ機器、ストレージ機器の納期が3～6カ月程度となっております。受託契約時に、同様の納期状況、もしくは更なる悪化状況となった場合6カ月程度を要する場合、構築ができない状況となってしまいます。この部分に関して、貴院、受託者での協議可能な形に文言を追加いただくと双方のリスク回避につながると考えます。	現行サーバ機器の保守期限が到来するため、契約期間内の調達・設置が必要です。  このため、現行の記載から変更しないこととします。
6	3_1_個別仕様書(医療情報システム用サーバ・ネットワーク設計・機器調達・構築・運用保守)). pdf	1	システムデータ移行・システムテスト期間（令和9年1月～3月）において、ハードウェア提供事業者は「運用保守期間と同等のサポートを行う」とされています。このため、「2_2_共通仕様書_別紙2_主な院内医療情報システムの調達スケジュール. pdf」には、令和9年4月からの保守・運用と記載されていますが、この部分について1月からの記載に変更、または、保守のみは1月からの記載を頂く形に希望いたします。	当院側の現行機器の保守期間とバランスをとった記載としています。 受託事業者側では記載をしていただいたとおりであり、解釈していただいておりますので、仕様書記載の内容で疑義がないものと考えます。  このため、現行の記載から変更しないこととします。
7	3_1_個別仕様書(医療情報システム用サーバ・ネットワーク設計・機器調達・構築・運用保守)). pdf	9	空きラック2台が約15m離れている、と記載いただいております、ラック間配線に関する制約事項は特にない形となるのでしょうか。配線経路の制約などがありましたら、追加で記載いただくことを希望いたします。	特に制約事項はありません。 必要でしたら、ご連絡いただければ、現場確認していただけます。  このため、現行の記載から変更しないこととします。
8	3_1_個別仕様書(医療情報システム用サーバ・ネットワーク設計・機器調達・構築・運用保守)). pdf	12	グループウェアの「院内メール」について、「個人ボックスの容量制限はなく」運用されているとのことですが、これは将来的にストレージ容量を予期せず圧迫するリスクがあります。運用開始後に容量が逼迫することを防ぐため、例えば「1ユーザあたりの標準容量を設定し、超過する場合は警告を表示する」といった機能の導入を検討いただくことが望ましいと考えます。	当院の今の運用では、特に問題となることはないと考えています。  このため、現行の記載から変更しないこととします。

医療情報システム用サーバ設計・機器調達・構築・運用保守にかかる意見書 対応について

No	書類名	ページ数	意見	対応
9	3_1_個別仕様書(医療情報システム用サーバ・ネットワーク設計・機器調達・構築・運用保守). pdf	15	現行仮想基盤からの移行 (VtoV移行、再構築) について、ソフトウェアベンダとの「緊密な協議」や「立会い」が求められています。 この部分について「2_1_共通仕様書_別紙1_別紙調達範囲と業務分担. pdf」に記載がある旨を追記を希望いたします。	共通仕様書には、全体的な役割分担を一覧で示しています。詳細には各詳細仕様書で記載しています。  このため、現行の記載から変更しないこととします。
10	3_1_個別仕様書(医療情報システム用サーバ・ネットワーク設計・機器調達・構築・運用保守). pdf	17	運用保守の範囲に「仮想サーバの追加作業」が含まれています。この作業自体は運用範囲として妥当と考えますが、仮想サーバの追加に伴い必要となるOSやCAL等の追加ライセンス費用の負担について、本契約に含まれるのか、別途協議となるのかを明確に記載いただくことで、後々のトラブルを回避できると考えます。	多くの場合、Windows Serverの追加作業でDataCenterライセンスを購入しているため、費用は不要です。ただし、ご意見いただいたとおり有償のOSの可能性もあります。  仕様の明確化のため 「 <u>ウ 仮想サーバの追加作業 (ただしOS等のソフトで調達費用が発生する場合は、当院が負担)</u> 」とします。
11	3_2_個別仕様書_別添函_設置場所と調達範囲 2. pdf	1	B1階のMC3個のうち、2つに調達範囲外、の記載がございません。 ONU (調達範囲外) のケーブルが調達範囲とされておりますが、ケーブルのみ新規手配という形となる認識でよろしいでしょうか。 MCおよびONUは、調達範囲外機器と認識しておりますが、どのような意図で調達範囲にされているか、意図、および一覧を仕様書内に記載頂くことを希望いたします。	該当のケーブルは調達範囲外であり、仕様の配色に誤りがありましたので、 <u>仕様を修正</u> します。
12	3_3_個別仕様書_別表_仮想化基盤に仮想マシンとして搭載するサーバー一覧. pdf	1	こちらに記載のあるリソースは、今回導入する仮想基盤で利用するリソースという意図での添付となりますでしょうか。 別表の見出しとして「仮想化基盤に仮想マシンとして搭載するサーバー一覧」とあるので新旧どちらの仮想基盤で利用するリソースを指すのかが不明確となっております。 現行仮想基盤で使用しているリソースを案内されているということであれば、「現行仮想化基盤での仮想マシンリソース一覧」といった見出しとして頂くことを希望いたします。	「 <u>現行仮想基盤での仮想マシンリソース一覧</u> 」として仕様を修正します。

医療情報システム用サーバ設計・機器調達・構築・運用保守にかかる意見書 対応について

No	書類名	ページ数	意見	対応
13	2_0_次期院内医療情報システム調達にかかる共通仕様書	3	「院内医療情報システム用ネットワーク」と「インターネット用ネットワーク」間の通信は原則禁止の旨記載があります。vCenter9.0ライセンス認証の通信は例外として認められるでしょうか。（オフラインの場合、180日毎にライセンスの手動更新が必要）	管理系に必要な通信で、セキュリティリスクがなければ例外とします。  契約後に協議することを想定しているため、現行の記載から変更しないこととします。
14	3_1_個別仕様書(医療情報システム用サーバ・ネットワーク設計・機器調達・構築・運用保守))	6	仮想化基盤サーバ仕様項番19「同一筐体内冗長ファンとホットスワップ可能な冗長電源を有すること。」とありますが、「同一筐体内冗長ファンを有すること」「同一筐体内電源がホットスワップ可能であること」の2要件と解釈してよいでしょうか。	左記のとおりです。  仕様の明確化のため 「 <u>同一筐体内冗長ファンを有すること</u> 」 「 <u>同一筐体内電源がホットスワップ可能であること</u> 」 と反映します。
15	3_1_個別仕様書(医療情報システム用サーバ・ネットワーク設計・機器調達・構築・運用保守))	6	メインストレージ仕様項番3「最大消費電力は1300W以下であること。」の記載について、ご提案時の構成の最大消費電力が1300W以下であること。という解釈で良いでしょうか。今後、ディスク/SSDの増設により1300Wを超える場合は問題ありませんでしょうか。	契約時の最大消費電力が1300W以下であれば問題ありません。  現行の記載から変更しないこととします。
16	3_1_個別仕様書(医療情報システム用サーバ・ネットワーク設計・機器調達・構築・運用保守))	8	バックアップストレージ仕様項番18「メインストレージに障害が発生した場合、バックアップストレージへ切り替えを行い業務運用が継続できること。」について、機種が異なる為パフォーマンスが異なります。性能としては縮退運転でも可能でしょうか。一部の重要業務を想定されているなど、運用の想定について具体的にご教示ください。	メインストレージに障害が発生してバックアップストレージへ切り替えても、システム数の縮退は考えておらず、通常時と同じシステム数の運用を想定しています。  ただし、費用圧縮の観点から異なる仕様のストレージとしており、パフォーマンスが異なることは承知しています。  現行の記載から変更しないこととします。

医療情報システム用サーバ設計・機器調達・構築・運用保守にかかる意見書 対応について

No	書類名	ページ数	意見	対応
17	3_1_個別仕様書(医療情報システム用サーバ・ネットワーク設計・機器調達・構築・運用保守))	10	10.1-ハイパーバイザ 項番カ「仮想サーバの構成変更が発生した際に仮想サーバを停止することなく、仮想 CPU 及び仮想ディスク、仮想 NIC の割当量等を動的に拡張できること。」の記載について、機能の実現にはハイパーバイザ側のみならず、仮想マシン上に搭載されたOSについてもホットプラグ対応である必要があります。	ご意見確認しました。 現行の記載から変更しないこととします。
18	3_1_個別仕様書(医療情報システム用サーバ・ネットワーク設計・機器調達・構築・運用保守))	10	10.1 ハイパーバイザ 項番ケ「仮想サーバの OS は、Windows, RedHat Enterprise Linux, SUSE Linux, Ubuntu が構築可能で、ハイパーバイザとしてサポートしていること。」について、上記は「VMware by Broadcom Compatibility Guide」に記載があり、サポートされております。ただしバージョンによってはサポートされないものが御座いますため、上記VMware by Broadcom Compatibility Guideに記載があるバージョンでご要件を満たしておりますでしょうか。	Vmware上の稼働としておりますので、Vmwareでサポートされるバージョンで構いません。 現行の記載から変更しないこととします。
19	3_1_個別仕様書(医療情報システム用サーバ・ネットワーク設計・機器調達・構築・運用保守))	17	13.5 障害時対応 項番イ「機器交換や、プログラム適用作業等、当院に駆けつける必要がある場合は、必ず4時間以内に当院に駆けつけて 対応を開始すること。」について、「天災、不慮の事故等社会通念上妥当な事由のない限り」など、例外的な事例を許容する文言追加をいただくことはできるでしょうか。	「機器交換や、プログラム適用作業等、当院に駆けつける必要がある場合は、 <u>天災・不慮の事故等をのぞき</u> 、必ず4時間以内に当院に駆けつけて 対応を開始すること。」と反映します。
20	3_3_個別仕様書_別表_仮想化基盤に仮想マシンとして搭載するサーバー一覧	1	一覧中の「VtoV」ないし「構築またはVtoV」とされている仮想マシンについて、OS等各種ライセンスは調達の対象となるでしょうか。	Windows Serverでは、DataCenterライセンスを購入しているため、別途費用は不要と考えています。 それ以外で受託者構築となっているOS（アンチウイルスファイル配信サーバのCentOSや、グループウェア兼院内メールサーバのRHEL）は調達していただく必要があります。 現行の記載から変更しないこととします。

医療情報システム用サーバ設計・機器調達・構築・運用保守にかかる意見書 対応について

No	書類名	ページ数	意見	対応
21	3_1_個別仕様書(医療情報システム用サーバ・ネットワーク設計・機器調達・構築・運用保守))	6	NVMe SSDとNVMe/FC接続機能を組み合わせた超高速エンドツーエンドデータベースの提供に対応できること。について、今回はFC接続が必須要件でしょうか。具体的な接続イメージについてご教示ください。	<p>現行はFC接続で運用しており、安定運用しています。今後も速度維持・安定稼働の観点から、一定のレベル以上の接続としたいと考えています。</p> <p>仕様については、ご意見もふまえ、「<u>NVMe SSDとNVMe/FC接続、またはNVMe SSDとNVMe/RoCE相当の接続とすること。ただし、NVMe/RoCE接続の場合に専用スイッチが必要になる場合は、準備すること。</u>」と反映します。</p>
22	3_1_個別仕様書(医療情報システム用サーバ・ネットワーク設計・機器調達・構築・運用保守))	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>RS232Cシリアルポートを1つ以上有すること。</li> </ul> <p>上記につきましては、RJ45, RS232Cポートを実装しており、非D-SUB9Pinの構成でも問題ありませんでしょうか。</p>	<p>RS232Cシリアルポートを有していれば問題ありません。</p> <p>現行の記載から変更しないこととします。</p>
23	3_1_個別仕様書(医療情報システム用サーバ・ネットワーク設計・機器調達・構築・運用保守))	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>PCIe Gen5.0に対応したスロットを2つ以上有すること。</li> </ul> <p>上記につきましては、ライザーカードがハーフハイトで構成する可能性はございます。</p>	<p>ご意見確認しました。</p> <p>現行の記載から変更しないこととします。</p>
24	3_1_個別仕様書(医療情報システム用サーバ・ネットワーク設計・機器調達・構築・運用保守))	8	バックアップストレージにつきましては、IOPS向上のために1本あたりのDISK容量を少容量モデルを選択し、シェルフ追加によりDISK本数を増やした構成もご提案可能でしょうか。もしくはストレージ内蔵ディスクに閉じた形でのご提案が必須となりますでしょうか。	<p>仕様を満たす範囲であれば、提案していただくことは可能です。</p> <p><u>機器選定の幅を広げるよう、仕様を見直します。</u></p>

医療情報システム用サーバ設計・機器調達・構築・運用保守にかかる意見書 対応について

No	書類名	ページ数	意見	対応
25	3_1_個別仕様書(医療情報システム用サーバ・ネットワーク設計・機器調達・構築・運用保守))	5	<p>・コアスイッチとの接続について、P.4 9. ウにて安定稼働の実績を求められている為、機器の型番の記載をお願いします。</p>	<p>コアスイッチ C9500-48Y4C-A Catalyst 9500 48-port</p> <p>サーバスイッチ C9200-48T-A Catalyst 9200 48-port</p> <p>です。仕様の明確化のために、<u>コアスイッチ、サーバスイッチの型番を仕様書に追記</u>します。</p>